

2022年5月2日

関係各位

関西女子学生バスケットボール連盟
理事長 丸岡信吾

新型コロナウィルス 感染防止のための対策の徹底について（お願い）

第43回全関西女子学生バスケットボール選手権大会開催中にコロナ禍により選手やチームスタッフが感染し、楽しみにしていた試合を棄権しなければならないこととなつたチームが複数生じました。

大会日程は、5月3日、4日の2日間となりました。

ベスト8に進出した大学で複数名の学生が発熱し、PCR検査を受検し、その結果、複数名がコロナウィルスに罹患し、陽性と判定されています。

主催者である関西女子学生バスケットボール連盟としては、大会中に生じたコロナ感染に憂慮しております。

罹患すると、行動が制限され、また部の活動にも制限が加わります。

全関西選手権大会が閉幕しますと、続いては、西日本学生選手権が開催される予定です。感染対策を徹底して大会に備えていただきたいと思います。

まだ、全関西女子学生選手権大会の試合が予定されているチームにおかれましては、参加する選手のみならずスタッフの皆さまも含めて、関係者全員に感染予防・感染防止の感染対策を徹底することを要請します。

主催者として、コロナ感染対策を講じ、「学生の安心、安全を最優先して大会を運営すること」として開催しております。私たちが定め提示しました「新型コロナウィルス感染症感染対策（感染予防・感染防止）のためのガイドライン」を再確認いただき、試合の際の留意事項を含めて、参加される皆さま全員に留意いただき、感染対策の徹底をお願いします。

マスク着用の徹底とともに、日々健康観察を継続し、虚偽の申告はせず、発熱が認められたり、のどの痛みなど体調不良が生じた際には自宅にとどまるようお願いします。

マスクをはずす場面に感染リスクが高まります。飲食の際には黙食とし、食後は速やかにマスクを着用するよう心がけてください。

手洗い、うがい、手指消毒を徹底し、各々が感染防止に努めていただきますようお願いします。

以上